

うえなえ

社会医療法人こぶし

年 頭 所 感

理事長 片岡昌哉

Vol.416 2023.1



新年を迎えるにあたって、片岡昌哉理事長に社会医療法人こぶしの2022年を振り返りながら、今後の展望などを語っていただきました。

皆さまどのように新年をお迎えになりましたでしょうか。地域によっては年末からの大雪などで大変な思いをされているかもしれません。

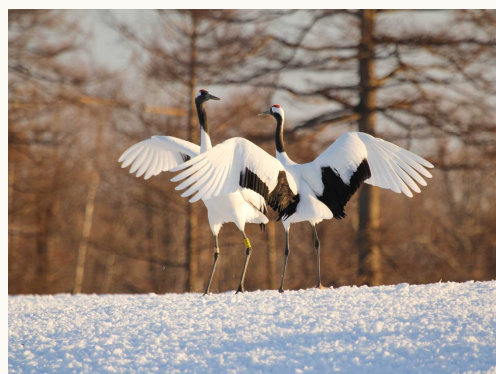
昨年10月院内で初めて新型コロナウイルス感染症が発生し瞬く間に大クラスターとなりました。一応の備えはしていましたが振り返ると不十分極まりなく改善すべき点が多々ありました。市内各所で未だクラスターの発生が続いており当院にも第二波が必ず訪れると考えられます。今回の経験をしっかり振り返り次に備えていかねばならないと身を引き締めているところです。

コロナ禍に加えウクライナ戦争など昨年は重苦しいニュースが続きました。以前から世界各地で戦争状態にある地域は存在するわけですが、我々の日常生活が直接影響を受けた点でやはり特別なことだったと思います。精神医療、福祉の世界でも残念ながら不祥事と呼ばれる事件が聞かれました。コロナによる経済状況の悪化に加えインフレも重なり社会全体が圧迫を受ける中、より弱いところにしわ寄せが行き若年層や女性の負担が増えている事を示唆する統計なども伝えられています。

このような状況下ですが当法人の新病院建設は順調に進行しています。新病院名は「ウトナイ病院」となり、5階建て3棟となります。現在本年12月診療開始に向け大釜本部長を中心に様々な準備を進めているところです。柳町診療所のデイケア及び外来も順次本院に統合していきませんが、訪問看護ステーションこころくる、相談支援事業所とまっぴは柳町に残り、柳町を地域支援の一つの核としてどのように展開していくのか考えていかなければなりません。いずれの点においても特に利用者の皆様からの直接のご意見、フィードバックなしには良いものは出来ません。どうか忌憚のないご意見を賜り、引き続きご支援いただければと思います。我々も謙虚に耳を傾ける姿勢を大切にしたいと考えております。

どのような時代となろうとも弱い立場の人、病む人は常にいらっしゃるはずで、今後は高齢者を中心にそういう層が増えていくことも予想されます。そのような時代にあっても当事者中心の治療、支援体制を築いていけるよう鋭意専心取り組んでいく所存です。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

片岡昌哉 拝



ウトナイ病院通信

第3回 ヒアリング

昨年は電子カルテの導入、新型コロナウイルス感染症のクラスターと様々な事があり、病院新築移転という大イベントがすっかり霞んでしまっていました。一面の年頭所感にもある様に12月診療開始に向けて着々と準備が行われています。



外来待合イメージ図

新病院名が『社会医療法人こぶし ウトナイ病院』に決まったと前回お伝えしてから、建築会社の方とのヒアリングが行われました。

◆新病院『こころのケアセンター ウトナイ病院』



2023年10月完成予定
オープンに向け建設中です。

ウトナイ病院 建設の様子

ホームページに向けて随時更新してまいります



5月 工事着工前



5月 地盤整



7月 着工



6月 基礎工事開始



ヒアリングとは、間取りや動線などを確認し、建築にあたっての条件の整理を行う事をいいます。建築をする前の下準備みたいな感じですが、壁紙・床はもちろん、コンセントや家具の位置、ネットワークの配線など細かい事までを決めていきます。部署によっては、大会議室で家具などの大きさを確認しながら動線の確認してみたりと、実際の業務を想定してヒアリングに臨んでいました。

植苗病院の外来をご利用の方は、既にご存知かと思いますが、待合の壁に新病院イメージ図が掲示されています。現在は5階建てのうち3階床まで出来上がっていて、大分イメージ図に近づいているはすなのですが、残念ながら現場では覆いに囲われているので確認する事は難しそうです。ホームページ (<https://www.uenae-hp.or.jp/utonai/>) では進捗状況を画像を使って公開しております。ご興味がある方はこちらもお覧になってみてください。



左：ウトナイ病院ホームページの様子
右：ウトナイ病院ホームページQRコード

活動報告

永年勤続表彰・MVP表彰

2022年も新型コロナウイルスの影響で忘年会が中止となり、永年勤続表彰とMVPの表彰が大会議室で行われました。受賞者と所属長はから一言いただき、記念撮影を行いました。皆でお祝いする事ができませんでした。来年こそは職員皆で集まって開催できることを願いながら表彰は終了しました。



「清風生八極」(せいふう はっきょくをしょうず)

年末に頂いた短冊に書かれていた言葉です。清風は爽やかで心地よい風、八極はそのままの意味だと全方向。となると、この言葉の意味は「周りが心地よい風で満たされている」になるのだろうか。間違いではないけれど、わざわざ選んでいただいた言葉なのだから、これだけの意味ではない様な気が。

Google先生や禅語辞典などで色々調べてみる。悟りを得た爽やかな境地は清々しさがどこまでも満ちているとか、世界が清らかな風で生き活きとしていると説明がされているぐらいで、やはりしっかりと来ない。しかし、もっと何かある、あって欲しいと私が固執しているだけで、そのままの意味で十分なのかもしれない。

人間は大人になるにつれて知らないうちに色々な事に縛られてしまい、自分の価値観の中だけで考え、段々と視野が狭くなり、自分に都合のいい答えが出るようにしてしまう。という事は、自分に向けられたメッセージに特別な意味があって欲しいと欲深く考えているようでは風も清々しく吹いてなんてくれるわけがないと自虐しながら、いつにも増してだらしないお正月を過ごし、清風までの道のりを更に遠くしてしまったのではないだろうか。

(K.S)

父の愛も受けたいこの年で

★W

自販機で実感できた物価高

★克彦

お知らせ

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2023年1月4日(火)より柳町診療所外来が下記のように変更になります。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら柳町診療所受付にご確認ください。

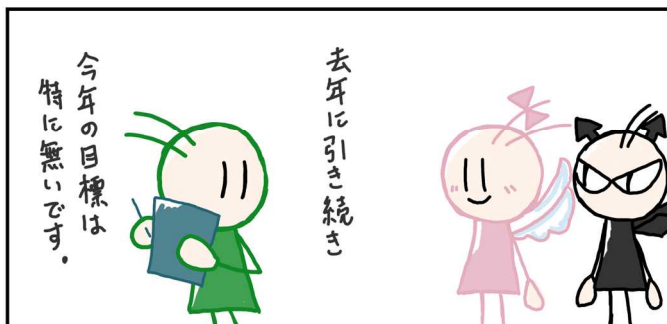
	月	火	水	木	金
午前	片岡	望月 小熊	片岡	片岡	片岡
午後	片岡	望月 小熊	片岡	片岡	片岡

◆ 巡回バス変更のお知らせ ◆

2022年12月1日より千歳巡回バスのバス停が「JR千歳駅西口」から「JR千歳駅東口」に変更となり、同時に運航時刻も一部変更となりました。

これまで植苗病院14時発だった③便が植苗病院14:20 → 千歳駅東口14:40 → 植苗病院15:00となっております。また土曜日の植苗病院巡回バスも②便の時刻が下表の通り一部変更となっておりますのでお気をつけ下さい。

植苗病院巡回バス(土曜日)	2022年12月1日～
植苗病院	12:30
バスターミナル	13:01
職訓センター通北(青山)	13:12
沼ノ端駅北口(道南)	13:22
植苗病院	13:35



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こびし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



特製ラーメン

< 後記 >

今年も実家に帰省しました。3日昼食は「母親手作りのラーメン」と決まっています。これを食べ終わると「年末年始を実家で過ごしたー」という実感が沸きます。皆さんも、年越しでの定番メニューってありますか？
(KK)